

平成 22 年 6 月 18 日現在

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2006 ～ 2009

課題番号：18530309

研究課題名（和文） アジア太平洋のフロンティア地域の国際経営

研究課題名（英文） International Management in frontier region in the Asian Pacific

研究代表者

丹野 勲(TANNO ISAO)

神奈川大学・経営学部・教授

研究成果の概要（和文）：本研究は制度と国際経営に関してアジアフロンティア地域であるカンボジア、ラオス、ミャンマー、タイ、ベトナム（CLMVT）および中国を中心として研究される。具体的には制度、地域統合、AFTA（アセアン自由貿易地域）、地域協力、GMS（大メコン圏開発）、CLMVTの企業経営環境、制度、アジアフロンティア地域、会社法とコーポレートガバナンス、労働関連法、人的資源管理、外資法と外資政策を研究した。

研究成果の概要（英文）：This research is the institution and international management in the Asian frontier region that is Cambodia, Laos, Myanmar, Thailand, Vietnam (CLMVT), and China. Concretely, the theory of institution, GMS (Grate Mekong Subregion) as the regional cooperation, AFTA (ASEAN Free Trade Area) as the regional integration, the management environment of CLMVT, the corporate law and corporate governances as the institution, labor law and human resource management, and foreign investment law and the foreign investment policy were researched in the Asian frontier region.

交付額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2006年度	1,000,000	0	1,000,000
2007年度	800,000	240,000	1,040,000
2008年度	800,000	240,000	1,040,000
2009年度	800,000	240,000	1,040,000
年度			
総計	3,400,000	720,000	4,120,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：経営学

キーワード：経営学、国際経営、制度理論、国際比較経営

1. 研究開始当初の背景

本研究は、将来発展が期待されている地域であるが、研究蓄積が少ない、アジア太平洋

のフロンティア地域、具体的にはベトナム、ミャンマー、ラオス、カンボジア、タイ、中国等のアジア地域を中心として、国際経営の

視点から研究するものである。特に日系企業のアジア太平洋での国際経営・現地経営、アジア太平洋企業の経営、およびアジア太平洋のフロンティア諸国の地域研究に重点を置く。

2. 研究の目的

アジア太平洋の国際経営、特に企業戦略、企業制度、法律、組織・組織行動、人的資源管理について国際比較経営の視点から理論的に研究する。さらに、アジア太平洋のフロンティア地域を事例として、実証的調査研究も含めた地域研究的アプローチに基づいて研究する。本研究は、アジア太平洋の企業戦略、制度、組織、人的資源管理を中心とした国際経営による体系的な実証的・理論的研究を目指すものである。

3. 研究の方法

「アジア太平洋のフロンティア地域の国際経営」について、3つのアプローチにより研究した。

第1は、アジア太平洋のフロンティア地域の国際経営に関する理論的研究である。アジア太平洋のフロンティア地域として、特にベトナム、カンボジア、ラオス、ミャンマー、およびタイと中国を重点的に研究した。ベトナム、カンボジア、ラオス、ミャンマー、タイ、中国の国際経営に関して、制度分析の視点から考察した。すなわち、制度としての法律、特に企業法、外国投資法、労働法を重点的に研究した。さらに、企業法・外国投資法とコーポレートガバナンス、労働法と人的資源管理について、国際比較経営、制度分析の視点から理論的に考察した。

第2は、アジア太平洋のフロンティア地域の国際経営に関する現地調査である。アジア太平洋のフロンティア地域として、ベトナム、カンボジア、ラオス、ミャンマー、タイ、中

国を重点的に調査した。研究の方法としては、ベトナム、カンボジア、ラオス、ミャンマー、タイ、中国において活動している日系企業、現地系企業、および現地機関に対して主に聞き取り調査を行い、国際比較経営の視点から研究した。これらの調査結果から、日系企業や現地企業の人的資源管理、コーポレートガバナンス、経営戦略などを実証的、理論的に比較分析した。

第3は、アジア太平洋のフロンティア諸国の地域研究によるアプローチである。アジア太平洋のフロンティア地域として、特にベトナム、カンボジア、ラオス、ミャンマー、タイ、中国を重点的に研究した。カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム、タイのCLMVT諸国は、近年直接投資国として注目されており、地域研究の視点から最新情勢を分析した。

4. 研究成果

研究の総括として、「アジア太平洋のフロンティア地域の国際経営」に関して、制度理論研究、およびカンボジア、ラオス、ミャンマー、タイ、ベトナム（CLMVT）、中国を中心として研究した。その成果として、単著『アジアフロンティア地域の制度と国際経営』（文眞堂）を出版した。この著書では、制度とは何か、地域統合としてAFTA、地域協力としてのGMS（大メコン圏開発）、CLMVTの企業経営環境、および制度としてのアジアフロンティア地域の会社法とコーポレートガバナンス、労働関連法と人的資源管理、外資法と外資政策、などについて研究した。本研究では、アジアフロンティア諸国の企業経営環境、法制度、特に会社法・外資法、および労働関連法を重点的に取り上げた。本研究の特徴として以下がある。

第1は、制度と国際経営という視点から研

究である。国際経営研究において、経営学の視点での研究のみならず、国際経営環境・制度の視点での研究が重要である。すなわち、企業のグローバル化は、異質な環境・制度下での企業競争という状況であるため、国内戦略以上に、経営環境・制度への認識が重要である。本研究では、制度の先行研究についてサーベイを行い、CLMVTと中国の法制度(会社法、労働法、外資法など)、経済制度などを中心に考察した。

第2は、地域研究という視点から研究である。本研究は、CLMVT、中国の地域研究の視点での研究も志向した。さらに、アジアフロンティア地域共通のインフラ整備・経済開発協力として注目されているGMS (Greater Mekong Subregion:大メコン圏) 開発についても触れた。

第3は、法と経営という視点からの研究である。本研究では、企業経営と制度という観点から、理論的・実証的に解明した。アジアの労働法と人的資源管理政策、アジアの会社法とコーポレートガバナンス政策、アジアの外資法と外資政策について重点的に研究した。

第4は、会社法とコーポレートガバナンスという視点からの研究である。本研究は、法律という制度と企業のコーポレートガバナンスとの関係について理論的分析した。すなわち、アジアフロンティア地域での法制度とコーポレートガバナンスに関して、まだ研究蓄積が少ないこの分野で先駆的研究を試みた。

第5は、労働法と人的資源管理という視点からの研究である。すなわち、アジアフロンティア地域の人的資源管理を労働法などの視点で分析した。

第6は、外資法と外資政策という視点からの研究である。外資法と外資系企業経営、外

資政策の変遷について考察している。本書は、CLMVTと中国の外資導入政策や外資関連法に関しても議論した。

第7は、国際比較経営という視点から研究である。本研究は、コーポレートガバナンスと会社法の国際比較、労働法と人的資源管理の国際比較、外資法と外資政策の国際比較といった国際経営の視点も重視して研究した。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 13 件)

①丹野勲、タイの外資政策と労働関連法、神奈川大学国際経営論集、査読無、No39、2010、pp.129-143

②丹野勲、制度分析と国際経営—制度理論とアジアフロンティア (カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム、タイ)・中国の国際経営、マネジメントジャーナル (神奈川大学国際経営研究所)、査読無、No2、2010年、pp.83-106

③丹野勲、ラオスの制度と国際経営—経済、人的資源、外国投資法、労働法を中心として、神奈川大学国際経営論集、査読無、No.38、2009、pp.39-52、

④丹野勲、中国の会社法・外資法とコーポレートガバナンス、神奈川大学国際経営論集、査読無、No38、2009、pp.53-66

⑤丹野勲、ベトナムの労働法と労使関係、世界の労働(日本ILO協会)、第59巻第9号、査読無、2009、pp.46-53

⑥丹野勲、ベトナムの企業倫理、経営倫理(経営倫理実践研究センター)、査読無、No55、2009、pp.27-29

⑦丹野勲、ミャンマーの情勢と企業経営環境、国際経営フォーラム (神奈川大学国際経営研究所)、査読無、第20号、2009、pp.197-214

⑧丹野勲、ベトナムの企業法・投資法とコーポレートガバナンス、国際経営フォーラム（神奈川大学国際経営研究所）、査読無、第20号、2009、pp.163-196

⑨丹野勲、タイの会社法とコーポレートガバナンス、国際経営フォーラム（神奈川大学国際経営研究所）、査読無、第20号、2009、pp.249-264

⑩丹野勲、ベトナムの労働法と人的資源管理、神奈川大学国際経営論集、査読無、No37、2009、pp.27-40

⑪丹野勲、中国の労働契約法と人的資源管理、神奈川大学国際経営論集、査読無、No37、2009、pp.41-58

⑫丹野勲、アジア太平洋の国際経営—アジア太平洋フロンティア地域、AFTAと日本企業のアジア戦略を中心として、2008年経営行動研究年報（日本経営行動研究学会）、査読有、第17号、2008、pp.3-9

⑬丹野勲、カンボジアの国際経営環境—人的資源、経済、外国投資法、会社法、労働法、神奈川大学国際経営論集、査読無、No36、2008、pp.43-62

[学会発表] (計 7 件)

①丹野勲、ミャンマーの情勢と観光、日本観光学会全国大会報告、2009.10.10

②丹野勲、戦略経営とグローバル経営—制度分析とアジア地域のグローバル化のケースから、国際戦略研究学会第1回全国大会統一論題報告、2008.9.20

③丹野勲、アジアフロンティア地域の国際経営—GMS、CLMVTを中心として、多国籍企業学会東部部会報告、2008.11.8

④丹野勲、中国・アジア諸国のサービス産業市場自由化と制度、日本流通情報学会平成20年度全国大会報告、2008.11.22

⑤丹野勲、アジア太平洋の国際経営、日本経

営行動研究学会平成19年度全国大会統一論題報告、2007.9.11

⑥丹野勲、アジアにおける多国籍企業の展開と人材育成、国際ビジネス研究学会第11回全国大会報告、2006.11.3

⑦丹野勲、ベトナムにおけるサステイナブル・グロースと人材育成、日本流通情報学会平成18年度全国大会報告、2006.12.2

[図書] (計 3 件)

①丹野勲、文眞堂、アジアフロンティア地域の制度と国際経営、2010、327

②丹野勲、榊原貞雄、実教出版、グローバル化の経営学、2007、9-218

③中山健、丹野勲、宮下清、創成社、知識経営時代のマネジメント、2007年、1-18、39-68、194-219

[産業財産権]

○出願状況 (計 0 件)

○取得状況 (計 0 件)

[その他]

6. 研究組織

(1) 研究代表者

丹野 勲 (TANNO ISAO)

神奈川大学・経営学部・教授

(2) 研究分担者

(3) 連携研究者